釧路定住自立圏共生ビジョン 変更箇所対照表

資料２

旧		新		備考
２頁	２　定住自立圏の将来像 （１）圏域の状況 ①自然・環境 （前略） 気候は沿岸地域では春から夏にかけて発生する海霧の影響で、夏は冷涼な海洋性気候ですが、内陸は寒暖の差が大きい大陸性気候で、秋冬には晴天の日が続き、年間日照時間は国内有数の地域です。 雄阿寒岳・硫黄山などの火山や日本最大の釧路湿原に代表される４つのラムサール条約湿地、屈斜路湖を源とし圏域を南北に貫いて太平洋に流れる釧路川など多様な自然環境を有し、タンチョウやエゾシカなど多様な野生動物や貴重な植物を見ることができます。さらには、丘陵地に豊かな森林が広がっています。こうした恵まれた自然環境を保全し、後世に残していくことは重要な課題であり、阿寒湖及び周辺地域の世界自然遺産登録を目指した機運の醸成など、圏域全体として取り組んでいく必要があります。	２頁	２　定住自立圏の将来像 （１）圏域の状況 ①自然・環境 （前略） 気候は沿岸地域で春から夏にかけて発生する海霧の影響から、夏は冷涼な海洋性気候ですが、内陸は寒暖の差が大きい大陸性気候で、秋冬には晴天の日が続き、年間日照時間は国内有数の地域です。 雄阿寒岳・硫黄山などの火山や日本最大の釧路湿原に代表される４つのラムサール条約湿地、屈斜路湖を源とし圏域を南北に貫き太平洋に流れる釧路川、丘陵地の広がる豊かな森林など多様な自然環境を有し、タンチョウやエゾシカなど多様な野生動物や貴重な植物を見ることができます。こうした恵まれた自然環境を保全し、後世に残していくことは重要な責務であり、阿寒湖及び周辺地域の世界自然遺産登録を目指した機運の醸成などとあわせて、圏域全体として取り組んでいく必要があります。	削除 変更 変更・追加 削除 変更 追加

※ 次の変更箇所は登載しておりません。

- 「５　定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組」における事業概要、事業費、補助事業等の名称等
- 「５　定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組」における重要業績評価指標(KPI)の現状値